

# 愛媛学 第6回

※前から座ろう

(最後列座らない!)

※出席確認のため、学生証を用意しておいてください

## 配付資料 3点

1. 振り返りとまとめワークシート
2. これまで提出した自分のワークシート
3. 「キャリア形成ハンドブック」



# 愛媛学 第6回

## 第2～5回の振り返りとまとめ



# 愛媛学第8回授業について

- 第8回目の授業（キャリア形成にむけて）は、e-learningで実施します。
- 教室に集合する必要はありません。
- e-learning システム（Moodle）にアクセスして、動画の視聴、資料を熟読の上、課題をウェブから提出してください。
- 課題の提出期間は、本日授業終了後～8回目授業の終了日（8月7日）23:59までです。
- 課題（10点満点）を提出することで出席となります。



- Moodleへは次のURLからPCでアクセスすることを推奨します。<http://moodle.ehime-u.ac.jp/>
- Moodleへのアクセス方法は、「こころと健康」のテキストも参考にしてください。
- Moodleの使用方法は、Moodleトップページ「在学生向け利用ガイド」を参照してください。
- Moodleの操作方法の質問は、総合情報メディアセンター 教育デザイン室に問い合せてください。[imsstaff@cite.ehime-u.ac.jp](mailto:imsstaff@cite.ehime-u.ac.jp)
- 今回配布した「キャリア形成ハンドブック」は、8回目授業で使用します。その後も就職活動をはじめキャリア形成に活用してください。

※「キャリア形成ハンドブック」最終ページに、学籍番号・氏名・所属を記入してください。



# 愛媛大学→在学生→修学支援システム

修学支援システム利用のてびき(学内限定)  
「2012.9.3」  
※学外からの閲覧はログイン後のトップ画面からお願いします。

教職課程学習ポートフォリオ入力のおてびき(学内限定)「2013.6.13」  
※学外からの閲覧はログイン後のトップ画面からお願いします。

関係リンク

愛媛大学ホームページ

シラバス

携帯電話のアドレス  
https://campus.ehime-u.ac.jp/Mobileportal/

QRコード

電子掲示板

Moodle

Moodle2.3(試験運用中)

ウェブメール(Active!Mail)

学生用アカウント発行手続き

パスワード変更

よくある質問

◆修学支援システムの特徴

履修登録	リアルタイムで作業を完結できます。
成績確認	自分の成績やGPAを確認することができます。
掲示板閲覧	休講・補講情報をはじめ、時間割変更情報、教室変更情報、担当授業教員からの連絡など、自分にかかわる履修関連情報を閲覧できます。また、これらの情報は携帯電話からも閲覧することができます。

◆ログインについて

修学支援システムのログインは下記のボタンをクリックしてください。

修学支援システム ログイン

◆平成25年度後学期の履修登録日程

9/17(火)～	9/17(火)～ 9/24(火)	9/25(水)
時間割表配布,成績通知		共通教育科目抽選 (履修登録不可)
9/26(木)～10/4(金)	9/30(月)	



# ドロップダウンリストから 「愛媛大学」を選択



https://moodle2x.lms.ehime... ジョルテ 総合検索 社会力入... 新修学支... 愛媛大学... 愛媛大学... 愛媛...

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

変換 選択

総合検索 愛媛大学 愛媛大学教職員向けポ... おすすめサイト ジョルテ 他のアドオンを表示...

愛媛大学 Moodle2 あなたはログインしていません。(ログイン)

Home ▶ ログイン画面

### Shibboleth Login

Shibboleth経由の認証のため、あなたの組織をドロップ  
ダウンリストから選択してください。

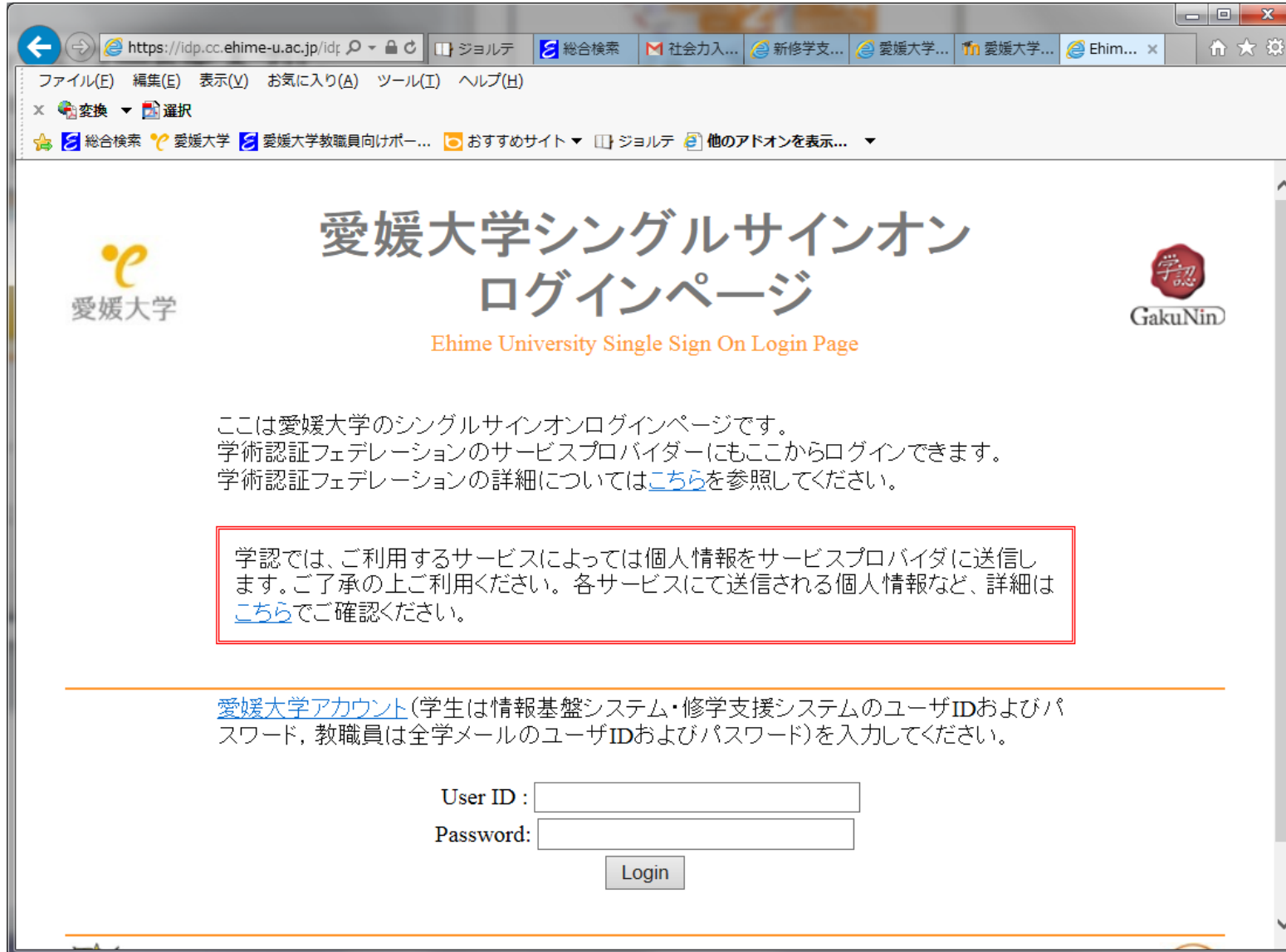
愛媛大学 ▼  
選択

あなたが組織との関係がなく、このサーバのコースにアク  
セスする必要がある場合、[Moodle管理者](#)にご連絡くださ  
い。

あなたはログインしていません。(ログイン)



# 愛媛大学アカウントでログイン



The screenshot shows a web browser window displaying the Ehime University Single Sign On Login Page. The browser's address bar shows the URL <https://idp.cc.ehime-u.ac.jp/idp/>. The page features the Ehime University logo on the left and the GakuNin logo on the right. The main heading is "愛媛大学シングルサインオン ログインページ" (Ehime University Single Sign On Login Page). Below the heading, there is a paragraph of text explaining the page's purpose and providing a link for more information. A red-bordered box highlights a notice about personal information being sent to service providers. At the bottom, there are input fields for "User ID" and "Password", and a "Login" button.

愛媛大学

## 愛媛大学シングルサインオン ログインページ

Ehime University Single Sign On Login Page

ここは愛媛大学のシングルサインオンログインページです。  
学術認証フェデレーションのサービスプロバイダーにもここからログインできます。  
学術認証フェデレーションの詳細については[こちら](#)を参照してください。

学認では、ご利用するサービスによっては個人情報をサービスプロバイダに送信します。ご了承の上ご利用ください。各サービスにて送信される個人情報など、詳細は[こちら](#)でご確認ください。

[愛媛大学アカウント](#) (学生は情報基盤システム・修学支援システムのユーザIDおよびパスワード、教職員は全学メールのユーザIDおよびパスワード)を入力してください。

User ID :

Password:

Login



# Home/マイコース/愛媛学

愛媛大学Moodle2

あなたは NOMOTO Hisa としてログインしています (ログアウト)

日本語 (ja)

メインメニュー

- Site news

ナビゲーション

Home

- マイホーム
- サイトページ
- マイプロフィール
- マイコース

マイコース

- 2013後-社会力入門-月3
- すべてのコース ...

設定

- マイプロフィール設定

愛媛大学Moodle2へようこそ

このサイトは、愛媛大学のe-Learningの授業を支援する学習マネジメント・システム (Learning Management System: MS) です。利用は下記リンクのガイドをご覧ください。

- 在学生向け利用ガイド
- 教職員向け利用ガイド

Moodleの新しいバージョンの運用を開始しています。それに伴い「Moodleコース申請」の方法が変更となっていますので、詳細につきましては下記リンクをご覧ください。

- Moodleコース申請方法

Moodleに関するお問い合わせ

総合情報メディアセンター 教育デザイン室  
TEL: 089-927-8978 内線: 8978・8976 MAIL: [idooffice@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:idooffice@stu.ehime-u.ac.jp)

Site news

(新しいニュースはありません。)

このフォーラムをメール購読する

コースカテゴリ

- 共通教育
- 法文学部/法文学研究科
- 教育学部/教育学研究科
- 理学部/理工学研究科(理学系)
- 医学部/医学系研究科

カレンダー

2013年 09月

日	月	火	水	木	金
1	2	3	4	5	
8	9	10	11	12	
15	16	17	18	19	
22	23	24	25	26	
29	30				

Moodleの不具合

moodle利用時に不具合した場合は、以下のファイル保存先: Moodle障害とヒアリングト.xls  
Moodle障害とヒアリングト.pdf  
出来る限り詳しく記載いただき、下記メールアドレスに付してください。不具合解決協力をお願いします。

ファイル保存先:  
Moodle障害とヒアリングト.xls  
Moodle障害とヒアリングト.pdf

※Excelが利用できないpdfをご覧ください。

メール連絡先:  
[Imstaff@cite.ehime-u.ac.jp](mailto:Imstaff@cite.ehime-u.ac.jp)

リンク

- 総合情報メディアセ...





# 授業ごとに教材・課題が並んでいます。

The screenshot shows a Moodle course interface. At the top, there is a header with the Moodle logo and 'EHIME UNIVERSITY moodle'. Below the header, the course title '2017Q1-愛媛学-秋丸' is displayed. A navigation breadcrumb shows the path: Home > マイコース > 共通教育 > 2017年度 > 2017-A0451-akimaru. On the left, there is a 'ナビゲーション' (Navigation) menu with options like 'Home', 'マイホーム', 'サイトページ', 'マイプロフィール', and '現在のコース'. Under '現在のコース', the current course '2017-A0451-akimaru' is expanded, showing '参加者', 'バッジ', '一般', and '愛媛学 第8講'. Below the navigation is a '管理' (Management) menu with options like 'コース管理', '評価', 'ロールを切り替える...', and '私の通常ロールに戻る'. The main content area is titled '愛媛学 第8講' and contains several items: '資料: 愛媛学第8回目授業について', 'はじめに-----', '地方創生と愛媛大学~COC+事業を中心に~ (5分15秒)', '1年生から始める就活-----', 'キャリア形成に向けて (18分41秒)', 'スライド資料', and '確認テスト'. The '確認テスト' item includes a description: '6回目授業で配布したキャリア形成ハンドブックと、上の動画の内容から出題した確認テストを受験してください。1回きりの受験になりますので、出題範囲を理解した上で期間内に受験してください。この受験をもって8講の出席とします。'. On the right side, there are several widgets: 'あなたの進捗' (Your progress), 'フォーラムを検索する' (Search forums), '最新ニュース' (Latest news), '直近イベント' (Recent events), and '最近の活動' (Recent activity). The '最近の活動' widget shows activity from 2017年 03月 30日 (木曜日) 23:01 以来.



# 今回の内容・方法

1. 第8回授業（e-learning）について
2. 今回の内容と方法, 今回の到達目標
3. 第2～5回の振り返りとまとめ  
: 講義（授業の振り返り）, 個人ワーク, ペアワーク, ワークシートの記入
4. 今回のまとめ, 到達目標達成の確認



# 今回の到達目標

- これまでの愛媛学での学習の内容を振り返り、学習の成果を要約することができる



# 第1回のふりかえり

1. ガイダンス(愛媛県, 愛媛学, 愛媛大学)
2. ミニ演習(2回以降の授業内容の確認)
  - 「地域の状況や課題を理解する力」
  - 「地域を活性化する方策」について考える  
: 個人ワーク、グループワーク
3. 「愛媛大学」紹介



# ワークシートの記述から：地域課題等

- 人口減少
- 少子高齢化
- 若者の流出（祭りの人不足、卒後定着しない）
- 働く場がない、地域産業に従事する若者不足
- 地域のつながりの希薄化
- シャッター街、空き家、空き施設問題
- 遊ぶところがない、スーパー、コンビニが少ない
- 病院、デイサービスの不足
- 交通手段の不足
- ゴミ捨て、分別
- 水不足
- 観光客のマナー



## ワークシートの記述から:活性化方法等

- ゆるキャラの活用、ご当地アイドルの結成
- 自治会・子ども会行事の増加
- 子育て支援の充実
- 公園、遊び場の設置
- 定期的なイベント開催(食べ物など)
- 花火大会、マラソン大会等イベントの開催
- 道の駅の充実
- 地域の特産品アピール、ブランドづくり
- ボランティアの活用
- 観光アピール、インバウンドへの方策
- 企業誘致
- Iターン、Uターンの推進



# ワークシートの記述から：感想等

- 愛媛県には色々な産業があり、日本の縮図的な特徴を持っているということを知りました。
- 地域の活性化に関わる取り組みを書き出してみると、様々な取り組みを行っていることが改めてわかりました。自分の住んでいる地域と他の地域を比べて良い部分を発見できてよかったです。
- グループで話し合う時でも相違点に驚いたり、共通点を見つけたりしたが、他のグループではまた全く違う意見が出てきて興味深かった。色々な共通点、相違点を持った人がたくさんいるのって面白いなと思いました。
- 愛媛大学も様々な研究に挑戦していることを知った。地域社会にも貢献していることに驚いた。



# 第2回のふりかえり

## 内容・方法

- 地域社会のあり方及び地域づくりの担い手づくり
  - 前田眞先生「これからの地域社会のありかた」「合意形成の手法と担い手づくり」  
:ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有

## 到達目標

1. これからの地域社会のあり方について説明できる
  - 新しい公共を作っていくための、ボトムアップでの住民自治が必要
2. 合意形成ための会議の手法について説明できる
  - ブレインストーミング、KJ法、ファシリテーショングラフィック
3. 地域づくりの担い手づくりの方策について説明できる
  - 共創的な会議を継続することで共感と共有が生まれ、地域課題解決の担い手づくりにつながる





## ワークシートの記述から ノート1:このような地域 社会のあり方についてどう思うか？

- 良い社会を作るためにも「住民自治」の考え方は重要であると思った。住民たちが思うことがあっても、トップダウンであつたらなかなか良い方向に進まないと思う。だから思うことがあれば周りの人に相談したりして、支援者や何らかの形で関わり、自らが立ち上がるボトムアップ方式を取るべきだと考える。住民たちが声を出しやすい環境づくりをしていくことが大切だと思った。
- 今の社会では隣の家に引っ越しの際の挨拶等もしなくなっている。関わりが薄れていることを身にしみて感じる。自治会や町内会などがあるにはあるがうまく動けていないこともあるので、そこを若い人が手伝いたくなるようなイベントや人間関係を築いていくことが大切だと感じた。
- 定期的に地域のイベントや掃除を行ったり、そのための話し合いを持つことで関わりを絶ってしまうことはなくすべきだと思う。



## 第2回

### ノート2: 共創的な会議の手法についてどう思うか? この手法を使うとしたどんな場面が考えられるか?

- サークルなどで会議をする機会が多くあるので、非常に役立つ情報を得られた。サークルではなかなかアイデアや解決策が出ず、困ったことが多かったので、この授業で学んだ心構えや手法を意識して進めたい。
- 「「べき」論だけを語らない、実践者としての意思を表明する」ということが実現できる計画を練るために必要だと感じた。
- カードを使った手法(KJ法)はとても役に立つと思う。口に出せない人でもアイデアを書くことができるし、カードをまとめたり、分けたりすることで構造化できる。活用していきたい。
- 会議は堅苦しくて、参加しても一人の権力のある人が発言したら、それで全ての人が決まるという傾向が強いが、BSなどの技法を使うことで参加しやすくなると思った。また、FGを使うことで途中参加になってしまう人も途中からでも理解できるので良い。サークルや委員会での話し合いなどでこれらの手法を効果的に使うとより活発な話し合いができ、それらの活動がより良くなっていくと思った。

# ワークシートの記述から：感想等

- 地域に関わっていくことの重要さはよく耳にするけれど、具体的にどのように地域の一員として関わっていけばいいかがよくわかった。特に会議の進め方は、意味のない会議や話し合いにならないようにするための方法として参考にしていきたいと思う。
- 当事者意識をしっかりと持ち、自分の意見をはっきり表示し、他人の意見をしっかりと聞きたい。自分の意見を示さず、後で不満や愚痴を言うようなことをなくしたい。自分のために自分が動くようにしたい。
- 今までにはあまり自分が地域に関係していると考えたことはなかったが、一人暮らしを始め、全てを自分で行うと考えた時その意味がわかったように感じた。目の前にある問題を、誰かがやってくれるだろうとか他人事のように考えずに、自分から積極的に行動していく必要があると思った。
- 地域の理想のあり方がわかったが、実現するのはとても難しいと感じた。学校現場で導入できそうなことが多かったので、学校現場から様々なことに挑戦していくべきだと思った。




# 第3回のふりかえり

## 内容・方法

- 地域社会のあり方及び地域づくりの担い手づくり
  - 前田真先生「地域の課題把握」「地域の課題分析とその解決」  
:ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有

## 到達目標

1. 地域課題を把握するための方法について説明できる
  - 行政資料、住民アンケート調査、新聞記事やニュース、ワークショップ（話し合い、現地点検、聞き取り、専門研修）等で、潜在化している本質的原因を顕在化させて把握する
2. 地域課題を分析するための方法について説明できる
  - 体験的、記載的、分類の、論理的、理論的、実験的手法によって、「地域を科学」し分析する
3. 地域課題の解決に向けた具体的な方法について説明できる
  - メンバーの得意技を生かし、目標等を共通認識しつつ、活動しながら自分たちにあった方法をブラッシュアップ
  - 課題解決に向け、背景、主体と対象、内容、方法、時機と時期、を視点に入れた具体的な企画を作成し、実践していく

### 第3回

ワークシートの記述から ノート1:ゴミの減量のための解決策→解決策から生まれる課題

- まずは自分のゴミを減らす→意識の継続希薄化
- ゴミ袋の料金値上げ→低所得者の負担増加
- 分別を細かくする→守れない人が多くなる
- 食材などは使う分だけ買いに行く→面倒, 忙しい
- スーパーの袋料金を高くする→客が逃げる
- リサイクルポイント等でプレゼント→協賛企業広がるか？
- 容器(パッケージやペットボトル等)を全てリサイクルするものとして作る→コスト膨大
- 紙媒体をやめて全てネットに載せる→パソコンスマホを持っていない人への情報格差



## ノート2: 教室に残されているゴミの解決策

- プリントが余らないように印刷して配る
- 余ったプリントを入れる箱を設置してそれをリサイクルする
- 教室内の飲食禁止, 持ち込みも禁止
- 交代制でゴミ確認係を作り授業後に見回る
- 掃除の時間を作る
- 配布資料をやめてmoodleに掲載したものを見る(タブレットを配布する)
- ゴミ箱を設置する(せめて建物に1つは欲しい)
- ゴミを捨てるのが楽しくなるようなゴミ箱を置く。喋るペンギンとか。
- 「いつも綺麗に使ってくれてありがとう」というメッセージを各机に貼っておくと汚しにくくなる。



## ノート3:学んだこと等

- 地域を科学する方法について、体験・経験をデータ化し集約して客観的概念にすることで、より分かりやすく、本質的な原因も明らかになると思い参考になった。
- ペアワークでも見聞を広めることができると実感しているので、ワークショップに「よそ者」に加わってもらうことで客観的な意見を聞けるというのは良い考えだと思った。
- 課題解決に向けた企画に必要な項目(5W1H)は、どの企画に対しても使うことができると思う。どんな課題に対しても項目を立てて構造化して考えていくことが大切だと思った。



# 第4回のふりかえり

## 内容・方法

- 松山市の中学生支援の取り組み
  - 教育学部富田英司先生「地域と学校の協働における課題とその背景」
  - 松山市青少年育成市民会議西川暁先生「青少年育成会議・土曜塾について」  
: 講義, 個人ワーク, ペアワーク, 共有

## 到達目標

1. 地域と学校の協働における課題とその背景について説明できる
  - 一人一人の子どもと向き合う時間の減少, 地域の教育力の格差と学校への依存, 「**チーム学校**」「**地域学校協働活動**」という**新提案で解決を目指す**  
**が課題山積**
2. 青少年育成市民会議・土曜塾について説明できる
  - 「社会全体で子どもたちを守り育てる」理念, 団体の概要, 学校の多忙化や体験活動の減少に対する地域での教育の役割, 土曜塾の概要: 経済的・家庭的課題を抱える中学生対象の学習支援, 貧困の連鎖を断ち切る包括的支援(福祉と教育両面), 行政組織の連携課題(市民会議がハブに), 恒常的な組織運営の課題, 地域の中の学校を目指し, **どのように地域と連携していくか学生の今から考え始めてほしい**
3. 地域と学校との効果的な連携を担う教員になるために必要な行動を検討できる
  - **学校現場での体験等を重ねたり, 課題や対応について考え始めよう**



## 第4回

ワークシートの記述から ノート1:地域と学校との連携を担う教員になるため、学生のうちから出来る準備や活動

- 地域の人と関わるボランティアに主体的に参加し、コミュニケーションスキルを高めたり、慣れたりしておく
- 祭りなど地域で行われている行事に参加してみる
- 地域連携実習などを活用し、実際に学校に行って児童と触れ合ったり、現場を体験しておく、学校や地域のことも知ってどのようなことができそうか考えてみる
- 自分が教師として赴任したい県の特徴を調べておき、教育とどう融合すれば生徒の学びが深まるかを考えておく
- 地域についての授業を受ける時に何か教育と関連づけることができないかと考えてみる
- 実際に連携がうまくいかない理由を考えたり、インタビューしてみる
- テレビや新聞などでの教育に関する報道をチェックして知識を入れておく



## 第4回

### ノート2: 学習意欲の低い生徒の学習意欲を高める接し方

- 身近な話題で親しくなる, 勉強以外のことでもコミュニケーションをとっていく
- 「やって」ではなく「一緒にやろう」
- スモールステップで, やればできるという成功体験を重ねるような課題を提示
- 自ら学ぶことを楽しいと思えるように得意科目, 好きな題材, 好きな方法(クイズ, ゲーム等)から学習するように
- いいところ, 成長を見つけたらすぐに褒めて自己肯定感を持たせるように
- 肯定的な言葉がけ, できないことを注意するのではなく, できることをほめていく
- 具体的な将来, 明るい将来の夢を持つような会話
- たまには教室を飛び出して体験的な学習を



## ノート3:学んだこと等

- 学校と地域が連携するというのは、より良い学びを子どもたちに与えたり、地域の活性化に繋がると思う。登下校の見守りや防災訓練など今思えば地域と連携した活動が身の回りにはたくさんあって、改めて学校は地域の方に支えられて成り立っていることを認識できた。
- 地域と連携して学校教育を行うのは大切だという意識はあったが、実際に何をするか、学生のうちに準備すべきことは何かなど考えたことはなかった。教師になった時に困らないように学生のうちから準備しなくてはならない。また、経済的な問題や家庭に問題を持つ子たちなどの教育支援や包括的支援についても考えていかななくてはならないと思った。
- 地域と学校の連携を強めていくにはやはり教師の役割が大事だと改めて思った。なのでしっかりその実情を知るために今のうちから地域連携実習やボランティアを通し学習する必要があると感じた。
- 私も土曜塾に参加しているが、土曜塾に行くことでいろんな人と関われ、コミュニケーション能力が少し着いた。コミュニケーション力をつけるためには人と関わることが大切であることを学んだ。地域のために何ができるか考え、地域とのつながりをこれからも大切にし、よりたくさんの体験を学校現場に活かしていきたいと感じた。



# 第5回のふりかえり

## 内容・方法

- 学習塾アフエッティ孕石修也先生「新しい形の学習塾における人材育成法とキャリア論」  
: 講義, 個人ワーク, ペアワーク, 共有

## 目的

- 新しい形の学習塾(アフエッティ)における人材育成法とキャリア論について学び, 教員を目指す者, 人材育成を担っていく者としてのヒントを見つける



ワークシートの記述から ノート1: ①教育学部に来た目的,  
第5回 ②授業に臨む態度, ③やりがい・生きがいを感じる時

- ① 教師になるため(幼稚園教諭, 小学校教員)。子どもに関わる仕事に就きたい。愛媛大学の教育方法や実習が多めで学ぶのにもいいと思った。深く専門を学びたい(教育学全般, 特別支援, 英語教育, 家政教育等)。同じ職業を志す仲間と一緒に学んでいきたいと考えたから。
- ② 地域と関わっていく姿勢。教師になった際に身につけておくべき能力を考え, 学んでいこうという姿勢。話している先生が何を伝えたいのか考えながら聴く。毎回何か一つは自分のものにできるように学び取る。グループワークで自分にはない考えを知って自分を見つめ直す。
- ③ 人から感謝された時。自分の思うようにできた時。できなかったことができるようになった時。目標に対してやりきった時。趣味の時間。



## 第5回

### ノート2: 達成したいことと→そのための行動習慣

- 理想の教師になるために→①1日1つはニュース記事を読む(新聞でも雑誌でもネットでもいい)。②普段から教採の過去問を解く。授業にきちんと出席する。③子どもと触れ合う機会を増やし自分のスキルを向上させる。④人間関係をうまく形成できるよう普段からコミュニケーションを意識する。
- 1ヶ月後までに、体重を3キロ減らす→①移動の時に早歩き, ②間食は週1回まで, ③料理中に5回スクワット
- 友達をたくさん増やす→①1回話したことのある人には積極的に自分から話しかける, ②誰にでも元気な挨拶, ③不機嫌な顔をしない, ④相手を尊重する態度で!!, ⑤聞き手に回ることもする, ⑥ポジティブなことを考える!!



## ノート3:学んだこと等

- 自分と向き合う力, 自分で決めたこととやりきる力はこれからの生活で意識していきたい。そして教師になれたら子どもたちに伝えたい。
- ノート1のワークを行い, 自分が今まで他の人に決められたルートを進んでいたように感じました。自分ではなかなか選択ができない性格ですが, 今日の授業を受け, 自分で物事を決め, やり遂げていこうと思いました。また, 目標や行動習慣は小さいことから始めた方が良く改めて思いました。大きすぎると「できなかった」という積み重ねから, 諦めの感情が強くなると思います。今日学んだことを生かし自分の生活をより良いものにしたいです。
- 自分でやりたいことに正面から向き合える力を持つことは大切だと思いました。なんとなく流れに乗ってなんとなく進んでいくのは, 1回きりの人生だからもったいないと気づくことができました。思い切って1歩踏み出して本気で取り組めることを見つけたいです。
- 孕石先生が経験して来た話を聞き, これから自分が生きていくためにとっても役立つと思いました。自分が同じような場面に出くわした時力になるし, 自分だけの考えも生まれると思ったからです。ノートを作るのはとても良いなと思いました。まとめることで自分が考えたこと, 歩んで来たこと, 目標を整理し, いつでも原点に戻れるし, やる気をもらえると思いました。結果だけでなく, 過程も大事にしようと思いました。

# ワーク

- 個人ワーク1 20分
  - 設問1 「2～5回の授業を通して、印象に残った  
1)地域の抱える課題, 2)地域を活性化する方法,  
3)重要と思ったこと」
- ペアワーク 10分
  - 共通の意見は青、自分独自の意見は赤で囲む
- 個人ワーク2 20分
  - 設問2 「ペアとなった人の考えの紹介と自分の意見」
  - 設問3 「感想・自由意見」





# 今回のまとめ

- 第8回授業 (e-learning) について
- 第2～5回の振り返りとまとめ  
: 講義 (授業の振り返り), 個人ワーク, ペアワーク, ワークシートの記入



# 到達目標達成の確認

- これまでの愛媛学での学習の内容を振り返り、学習の成果を要約することができる

